

## 市民の皆さまへ

3月11日、14時46分頃に発生した「東北地方太平洋沖地震」。この日この瞬間から始まった、まさに悪夢のような出来事は、わたしたち国民の心に深く刻まれることとなりました。マグニチュード9.0という想像を絶する巨大地震は、想定をはるかに超える大津波を発生させ、一瞬のうちに多くの命、財産を飲み込んでしまいました。また、地震の影響による原子力発電所の放射能漏れ事故は極めて深刻な状況であり、人々の健康と日々の安全・安心な暮らしに大きな不安を抱かせています。

この災害では、東日本の広い範囲で途方もなく大勢の方が被災され、犠牲者の数は戦後最大と言われています。亡くなられた皆さまのご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆さまへ心からお見舞い申し上げます。

本市も、昨年7月、記録的な豪雨で尊い命や多くの財産を失いました。見る影もなくなった住宅や田畑、表情を一変させた山々。自然の猛威をまざまざと見せ付けられたと同時に、人間の無力さをあらためて感じた出来事でもありました。そんな中、甚大な被害に戸惑いと落胆、そして未来への失望感にひざを落としていたわたしたちに、全国から多くの励ましの声、支援をいただき、生活再建に向けて希望と勇気をもらいました。

東日本の被災地では、将来への不安の中で、被災者が今を精一杯生きようと努力されています。わたしたちのできることはごく限られた、わずかな糧にしかならないことかもしれませんが、同じ自然災害を経験し、人々のやさしさ、差し伸べられる手のぬくもりに触れた者として、今何ができるか、何をしなければならないか、市民の皆さんと一緒に被災者の立場にわが身を置き換えて考えていきたいと思えます。

終わりに、被災された多くの皆さまへ重ねてお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興と平穏な日々が戻ることを心より願っております。

庄原市長 滝口季彦